

## 2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	金山 正子	職名	教授	学位	修士
研 究 分 野			研究内容のキーワード		
基礎看護学、看護教育			看護教育、看護倫理、看護実習、看護学生		
研 究 課 題					
看護学生の看護倫理に対する意識についての教育効果の研究					
担 当 授 業 科 目					
看護学概論、看護倫理、看護理論、看護技術論演習、看護過程論、診療関連技術論演習、生活援助技術論演習、ヘルスアセスメント演習、早期看護実習、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、看護総合演習、看護総合実習、看護学特論					
授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)					
授業科目名【 看護学概論 】					
1年次前期に対面授業で実施した。看護の定義、看護の概念について、ナイチンゲールとヘンダーソンの看護に対する考え方について理解を深めるため、個人の課題レポートとグループワークを導入し、相互に学ぶ機会を設定した。また、看護事例を紹介し、理解を助ける工夫を行った。講義終了時に、練習問題と質問を記入する出席カードを提出してもらい、学生の意識や反応を確認し、授業に活用した。					
授業科目名【 看護倫理 】					
2年次後期に遠隔授業を実施した。Classroomでの資料提示や連絡と教科書を使用し、看護者の倫理綱領、看護倫理の原則、倫理的課題、倫理的意思決定の方法などの基礎的知識の修得をめざした。また、事例検討では、グループワークと発表を行い、相互に学ぶようにした。講義終了時に、練習問題と質問・感想を記入する出席カードを提出してもらい、学生の意識や反応を確認し、授業に活用した。					
授業科目名【 看護理論 】					
3年次前期に選択の受講者に授業を実施した。看護理論のテキストにそって、主要な看護理論家の看護理論の特徴と看護実践への活用について概説し、課題レポートで理論の特徴と活用について考える機会を作った。また、講義終了後に質問・感想を記入する出席カードを提出してもらい、学生の学びを確認するようにした。					
授業科目名【 看護技術論演習 】					
1年次前期に対面授業により、複数の教員で担当した。実習室では、手洗いなどの感染予防対策を厳重に行い、ベッドメイキング、シーツ交換などの技術を指導し、技術試験を実施した。自己練習の時間もあり、学生は、短時間でベッドメイキングを効果的にできるようになっていた。					

<p><b>授業科目名【看護過程論】</b></p> <p>2年次前期に対面授業で、主に看護過程論のグループ学習を担当した。学生の学習内容を把握し、事例患者の理解や情報整理、アセスメント、全体像の把握、問題の抽出、計画立案などのプロセスに従って、助言や指導、提出物へのコメントなどを工夫した。</p>
<p><b>授業科目名【生活援助技術論演習】</b></p> <p>1年次後期に、対面授業により、複数の教員とともに実施した。技術の演習では、手順だけでなく、根拠を考えると、患者への安全、安楽、自立に十分配慮することや、対象への愛護的なかわり、声掛け、説明の方法やプライバシーへの配慮など、看護の基本技術に必要な助言・指導を行うように工夫した。</p>
<p><b>授業科目名【ヘルスアセスメント演習】</b></p> <p>1年次後期に、複数の教員でヘルスアセスメント技術への指導を行った。演習では、手順とともに根拠を考えると、患者への安全、安楽、自立に十分配慮することや、対象への愛護的なかわり、声掛け、説明の方法やプライバシーへの配慮など、看護の基本技術に必要な助言・指導を行った。また、フィジコやシナリオなどのシミュレータを活用して、呼吸音・心音・腸音などの聴診技術を学び、また、時間外のバイタルサイン測定の自己練習などにおいて、学生が効果的に活用することができた。</p>
<p><b>授業科目名【早期看護実習】</b></p> <p>早期看護実習は、看護への動機づけをはかる目的で、1年次前期の6月に実施した。市内の感染状況により臨地実習の受け入れ可能な施設で、89名の学生全員が1日は臨地実習の体験ができるように、調整を行った。また、学内実習では、臨床現場の実際について、病院や在宅、高齢者施設、認定看護師や専門看護師の活動、個人情報保護などの看護師の活動について、講義や動画、また、コミュニケーション演習やベッドメイキングの技術練習などを企画し、グループで意見交換と発表、課題レポートにより、学びが深まるようにした。</p>
<p><b>授業科目名【基礎看護学実習Ⅰ】</b></p> <p>1年次生2月の1週間の実習である。臨地実習が困難なため、感染予防策を厳重に行い、学内実習を行った。臨地実習の実際の方法を考慮し、実習室を病室とみなし、2人の教職員が模擬患者となり、学生が患者訪問をして、コミュニケーションをとる形式をとった。学生は患者の情報収集やニーズの把握、コミュニケーションの取り方やプロセスレコードの記載・分析などを行い、教員は助言や指導を行った。</p>
<p><b>授業科目名【基礎看護学実習Ⅱ】</b></p> <p>2年次生は、感染状況により、実習施設での人数調整が必要であり、9月は臨地実習を実施したが、2月は臨地実習が困難なため、学内実習を行った。2月の学内実習では3人の模擬患者を設定し、模擬電子カルテを活用して、受持ち患者の看護過程にそって情報収集・アセスメント・全体像の把握・看護問題の抽出、計画の立案を行った。看護技術の実施では、模擬患者に看護技術を提供する計画を立案し、実習室で発表会を行った。看護過程の思考・判断と看護技術の実施について、円滑に進むように助言を行った。</p>
<p><b>授業科目名【看護総合演習】【看護総合実習】</b></p> <p>看護総合演習は、4年次に対面により実施した。日常生活援助技術を中心に課題学習を行い、テーマを設定して実習計画を立案し、実習室で相互に看護技術の演習・実習を行った。</p> <p>看護総合実習は8月に、2人が臨地実習を実施した。3人はやむを得ない事情により、臨地実習ができなかったが、学内実習を行った。学内実習では、模擬電子カルテを活用して、アセスメント・看護計画の立案を中心とした看護過程にそった学習を進めた。また、全員で学びを共有する発表会を行い、看護観の形成につながるようにした。</p>
<p><b>授業科目名【看護学特論】</b></p> <p>4年次後期の選択科目において、看護実践における看護倫理について講義した。看護倫理の課題と看護職の倫理綱領の改訂など、最新の知識と今後の課題について講義内容に含めた。また、国家試験の過去問題を参考にして、各自の知識を確認した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本看護研究学会		1990年～現在
日本看護科学学会		1990年-2012年、2014年～現在

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
西南女学院大学 認定看護管理者教育 課程 ファーストレベル	講師	2022年6月
西南女学院大学 認定看護管理者教育 課程 セカンドレベル	講師	2022年9月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
教務委員会委員 4年生アドバイザー 認定看護師教育課程検討委員 その他：【文科省】「ウイズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業(メニュー2A)実習等に資するシミュレータ等のDX設備整備」(9,592千円)に関するシミュレータ等の設備整備と活用